

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、27～30℃台を示し、著しく高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---月夜間に出漁日数が少なかった。西彼地区ではマイワシなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の60%（前年並み）。五島奈留地区では、マイワシなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の1.8倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで前週並み（前年並み）。
- イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり10kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり177kgの水揚げで、前週の51%（前年を上回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり72kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.8トンの水揚げで、前週の74%（前年を下回った）。
- 定置網----五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり784kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり362kgの水揚げ。
- 一本釣----北松宇久地区では、イサキが1日当たり180kgの水揚げで、前週の2.8倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（9/14～9/18の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。赤イカは北太平洋で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）は、2日延2隻、総計246箱、1航海最高131箱、平均123箱。スルメイカを漁獲、魚体は（20～25入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>